

柳津小学校だより

鳴神山



2021, 2, 17 No, 45

柳津町立柳津小学校

発行者 校長 星 潔



読み聞かせ ありがとうございました！！

読書に親しむ子ども達を目指して、今年度も本校では様々な手立てを講じてきました。図書館司書、図書館担当、図書委員会児童による様々な企画。県立図書館あづま号の利用。図書室だよりの発行などなど。そして「うぐいすお話の会」様による朝の読み聞かせです。毎週火曜日に各学年をローテーションで読み聞かせをしてくださいました。お陰様で1日が落ち着いてスタートできますとともに、子ども達の読書意欲の向上に役立ちました。今年度は2月16日をもって最後となりました。各学年とも最後の時間にお礼の手紙をお渡しし、心ばかりですが感謝の思いを伝えました。次年度も子ども達のために、またご来校いただきますようお願い申し上げます。「うぐいすお話の会」様、本当にありがとうございました。



学びの様子から

今年度の登校日も残すところあと21日となりました。各学年とも、良いまとめができるように、学びの充実にも力を入れています。以下、2月の学びの様子を掲載いたします。



1年生の道徳。担任も役割演技をして、子ども達の心に染み入る授業を展開しています。

4年生の国語です。手作り教材を準備し、子ども達の理解が確実にできるようにしています。





あおば学級，3年生，6年生の算数です。特に算数科の時間，担任と教員または支援員の2人でそれぞれに子ども達の学びを見取り，学習の充実に努めています。なお他の学年でも行っています。



5年生算数です。担任がタブレットで児童の学習の様子を見取り，支援に役立っています。

2年生とみつば学級です。子どもと目線を同じにして，よりよい解決方法を子ども自身に気付かせています。

※ 3学期も残り少なくなりました。「チーム柳小2020」教職員一丸となって，子ども達の学びの充実に努めて参ります。

校長のひとりごと

2月13日（土）午後11時7分頃，久しぶりの緊急地震速報が鳴り響きました。その後に来た大きな揺れ。東日本大震災が頭をよぎりました。とても長い時間揺れが続いたような気がしました。報道によると，福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震で，最大震度は6強を観測したそうです。気象庁によると，東日本大震災の余震と考えられるとのことでした。今年には東日本大震災からちょうど10年の節目の年です。10年たっても余震がおきることに驚きました。しかしよくよく考えてみると，地球の長い歴史から考えれば，10年などという時間はほんの一瞬です。それだけでなく日本は地震大国です。世界で発生しているマグニチュード6以上の地震の約2割は，日本周辺で発生しているそうです。だからこそ，これからも災害に備えていく必要があります。

星家では今回の地震を機に「防災グッズ」の点検をしました。水や缶詰などの賞味期限や消費期限の確認や懐中電灯などの電池の確認などです。普段からきちんと行っていればよいのですが・・・それでもこういう時に行っておくことは，とても大切なことだと思います。地震だけでなく火災など様々な災害は，いつどこで起きるのか誰にも分かりません。そんな時に大切なのが「準備」だと思います。常日頃より，家族でどうすればよいか確認をしておいたり，持ち出しグッズの場所などを共有したりしておくことが，柳小の重点目標である「自分の命を自分で守る『本物の力』」を確実に身に付けさせることにもつながると思います。災害に対してだけではありませんが「準備」をきちんとしておき，何かあったときに落ち着いて対処できる子ども達を育てていきたいと思っています。チーム柳小2020の皆様も，様々な「準備」をよろしくお願いたします。